

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：運転免許費

## 事業名 運転免許費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 交通部 運転免許課 電話番号：058-295-1010 (内 201)

総務室 情報管理課 電話番号：058-271-2424 (内 2411)

E-mail：[c18873@pref.gifu.lg.jp](mailto:c18873@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 1,768,300 千円 (前年度予算額：2,730,972 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県債	一 般 財源
前年度	2,730,972	0	0	1,479,942	6	0	911	896,400	353,713
要求額	1,768,300	0	0	1,533,579	6	0	890	169,400	64,425
決定額	1,766,236	0	0	1,531,151	6	0	888	169,400	64,791

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

運転免許試験や更新等の運転免許事務、各種講習等の実施及び交通安全教育の場にふさわしい環境を整えるため運転免許施設の整備・維持管理を行う。

また、岐阜運転免許試験場における機能不備を解消するため、現在地での新庁舎建設を進めている。

### (2) 事業内容

- ・運転免許行政用機器等の調達
- ・各種安全運転講習等の業務委託
- ・運転免許施設の整備及び維持管理
- ・運転免許試験場の再整備
- ・運転免許技能試験車両更新整備

### (3) 県負担・補助率の考え方

運転免許行政及び運転免許施設の整備・維持に要する経費であり県負担は妥当。なお、その財源は運転免許行政に係る手数料を充当している。

(4) 類似事業の有無  
無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	118,553	会計年度任用職員（運転免許関係）の経費
旅費	6,331	業務旅費
需用費	202,150	試験車両燃料費、免許作成用消耗品、一般事務費等
役務費	31,173	運転免許関係システムの回線料、試験車両検査登録料、自賠責保険料、講習・検査通知郵便料等
委託料	980,236	庁舎管理業務委託、ぎふ清流文化プラザ指定管理料、免許事務委託、講習業務委託、免許行政用機器等保守委託等
工事請負費	220,946	運転免許試験場庁舎建設等
その他	208,911	免許行政用機器借上料、公課費、土地賃借料
合計	1,768,300	

**決定額の考え方**

庁舎管理業務委託の一部を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

II-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

「第10次岐阜県交通安全計画」

1-2-3 安全運転の確保

(2) 後年度の財政負担

岐阜運転免許試験場庁舎建設及びコースの拡張工事

# 事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
  - ・交通事故防止教育や講習のための環境整備を進める。
  - ・必要な施設整備の推進と現有施設の維持に努める

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目 標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

運転免許行政に係る事業及び法令に基づく講習を実施する事業であるため、定量的な指標で表すことができない。

### (前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 

多数の来庁者がある運転免許施設の良好な環境を維持したほか、各種講習を県下全域に所在する自動車教習所等へ委託するなど受講者の利便性を確保するとともに、質の高い講習の実施に努めた。

また、認知機能検査及び臨時高齢者講習については、引き続き公安委員会が直接実施し、円滑な免許更新手続きの確保、増加傾向にある高齢運転者の交通事故抑止のための対策を推進した。

### (前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 

新試験場庁舎供用開始に合わせて、受験者に対する案内を電光掲示板で表示するシステムを設置するなど、運転免許試験受験者等に対する利便性向上に努めた。

また、老朽化した深視力計や視野検査器を更新したことにより、視覚検査業務を合理的に実施することができ、時間短縮等、受験者の利便性向上を図ることができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	<p>運転免許行政に係る事業であり必要性が高い。 施設整備にあつては、今後増加する高齢運転者に対する施策も勘案して、必要な機能を満たす必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	<p>運転免許行政を滞りなく実施しており有効である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	<p>外部委託を活用しながら、効率よく運転免許行政が行われている。 また、適切な維持管理により、施設や機器等の修理費用の軽減を図っている。</p>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 高齢者対策をはじめとする様々な制度改正に対応できるよう、適時必要な人的、物的基盤を整備する必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 運転免許行政は交通社会を維持する上で欠かすことのできないものであり、継続すべき事業である。また、大規模施設整備計画により、新試験場庁舎建設および場内試験コースの拡張を今後複数年で実現したい。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【 課 】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	